

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
なかよしの き	3	◇挿絵を見ながら気づいたことを話し、話を想像しながら物語を楽しむとともに、国語学習への関心や意欲をもつ。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ	姿勢や口形、発声に注意して話している。(〔知識及び技能〕(1)イ)	「話すこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。((思考力、判断力、表現力等)C)イ	読んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の共通しをもって内容や感想を話し合おうとしている。
たのしい いちにち	2 (話す聞 ②)	◇学校生活のさまざまな場面の挿絵をもとに、挨拶の言葉を考え、場面に合わせた挨拶ができるようにする。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ ◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア ☆道徳：B礼儀 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(〔知識及び技能〕(1)イ)	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。((思考力、判断力、表現力等)A)ウ	積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の共通しをもって表現しようとしている。
わたしの なまえ	2 (話す聞 ②)	◇自己紹介の場面の挿絵をもとに、話し方や聞き方について話し合い、言語生活を広げる。 △言葉と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ ◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒思判表A(1)エ ◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア ☆道徳・特別活動：自己紹介をし、みんなに自分のことを知ってもらう。	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(〔知識及び技能〕(1)イ)	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。((思考力、判断力、表現力等)A)ウ	積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の共通しをもって表現しようとしている。
おはなし たくさん ききたいな	2	△さまざまな本の読み聞かせをとおして、読書への関心を高める。 △読書に楽しみ、いろいろな本があることを知ること。 ⇒知技(3)エ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ	読書に楽しみ、いろいろな本があることを知っている。(〔知識及び技能〕(3)エ)		積極的に読書に楽しみ、学習の共通しをもって感想を発表しようとしている。
こえの おおきさ どれくらい	1 (話す聞 ①)	◇挿絵をもとに、場面に応じた話し声の大きさを意識する。 ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ ◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア		「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。((思考力、判断力、表現力等)A)ウ	積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の共通しをもって話そうとしている。
かいて みよう	3	△正しい鉛筆の持ち方、正しい姿勢に気をつけて線をなぞったり文字を書いたりする。 △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ △姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くこと。 ⇒知技(3)ウ(フ)	平仮名を読み、書いている。(〔知識及び技能〕(1)ウ)		読んで字を正確に読みとり書いたりし、学習課題に応じて言葉を書くようとしている。
こえを あわせて あいうえお	1 (話す聞 ①)	◇「こえを あわせて あいうえお」を、姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意してはっきりした発音で読む。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒知技(1)ク ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ ◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク)	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。((思考力、判断力、表現力等)A)ウ	積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の共通しをもって音読しようとしている。
あいうえお	1	△母音や簡単な平仮名の読み方、書き方を理解する。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒知技(1)カ ■語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(〔知識及び技能〕(1)イ)		積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の共通しをもって声に出して読もうとしている。
みつけて はなそう、たのしく きこう	3 (話す聞 ③)	◇挿絵から見つけた話題にそって話し、相手の話題に対して、簡単なことを尋ねたり、応答したりする。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア ◇互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。 ⇒思判表A(1)オ ◇尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。 ⇒思判表A(2)イ	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア)	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち相手の発言を受けて話をつないでいる。((思考力、判断力、表現力等)A)オ	積極的に互いの話に関心をもち、学習の共通しをもって尋ねたり応答しようとしている。
かき、かぎ	2 (書①)	△清音と濁音、半濁音の違いを理解して、正しく読んだり書いたりし、主語と述語の関係や文の終わりに句点がつくことを理解し、正しく文を書く。 △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒知技(1)カ ■語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)ウ)	「書くこと」において、語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)B)ウ	積極的に読書・字書きの表記、句点の打ち方を理解し、学習課題に沿って物事を文を書くようとしている。
ことばを あつめよう	2	△言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、つながる言葉を考えて読んだり、書いたりする。 △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ △身近なことを表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ	身近なことを表す語句の量を増し、語や文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕(1)オ)		読んで身近なことを表す語句の量を増やし、学習の共通しをもって読んだり書いたりしようとしている。

くさんと ありさんの ごあいさつ	3	□登場人物の様子を考えながら、楽しく音読する。 △丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。 ⇒知技(1)キ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒◎知技(1)ク □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒◎思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んでりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク)	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。((思考力、判断力、表現力等)Cイ)	通んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。
おこ、おっこ	2 (書1)	△促音の読み方と書き方を理解し、句読点の使い方を理解する。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かざ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)ウ △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒◎知技(1)カ △丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。 ⇒知技(1)キ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)ウ)	文の中における主語と述語との関係に気付いている。(〔知識及び技能〕(1)カ) 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)Bウ)	積極的に読者の表記、読点の使い方を理解し、学習課題に沿って簡単な文を書くようしている。
ほんを よもう	3	△読みたい本を探して読んで、読んだ本について友達や先生に話したりして、読書を広げる。 △昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。 ⇒知技(3)ア △読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 ⇒◎知技(3)エ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んでりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(〔知識及び技能〕(3)エ)		積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって感想を伝えようとしている。
ことばを つなごう	2 (書1)	△言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、つながる言葉を考えて読んで、書いたりする。 △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かざ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ △身近なことを表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすること。 ⇒◎知技(1)オ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕(1)オ)	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)Bウ)	通んで身近なことを表す語句の量を増し、学習課題に沿って読んで書いたりしようとしている。
たのしく よもう 1 あいうえおの うた	1	△様子を思い浮かべながら、リズムよく音読する。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒◎知技(1)ク	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク)		通んで語のまとまりや言葉の響きなどに気を付け、学習の見通しをもって音読しようとしている。
ごじゅうおん	1	△五十音表を見て、これまでに学んだ平仮名の学習を振り返るとともに、五十音表の基本的な特徴に気づく。 △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かざ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)ウ	長音、抑音、促音、撥音などの表記の仕方を理解して文や文章の中で使っている。また、また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)ウ)		積極的に平仮名を読み、今までの学習を生かして五十音表の特徴に気づくようしている。
けむりの きしゃ	5	□文文章と挿絵を結びつけながら、場面の様子について人物の行動を中心に想像を広げながら読む。 △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かざ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒◎知技(1)ク □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒◎思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んでりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク)	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。((思考力、判断力、表現力等)Cイ)	通んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって登場人物の行動に注目しようとしている。
のぼす おん	2	△長音の読み方と書き方を理解する。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かざ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)ウ	長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)ウ)		積極的に長音の表記の仕方を理解し、学習の見通しをもって読み取り書いたりしようとしている。
せんせい、あのね	2 (書2)	■話(言葉)がそのままだにすることを知り、先生に話しかけるかたの簡単な文章を書くとともに、敬体の文章に慣れるようにする。 △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かざ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒◎知技(1)カ △丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。 ⇒知技(1)キ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表B(1)ア ■身近なことを経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア ☆生活科・特別活動：敬体や方言を使ったり、書いたりした文を見直ししながら、相手にわかりやすいように書いて知らせる。 ☆道徳：友達がいじめたもののよいところを見つける。	文の中における主語と述語との関係に気付いている。(〔知識及び技能〕(1)カ)	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。((思考力、判断力、表現力等)Bア)	通んで主語と述語との関係に気付くこと、学習の見通しをもって簡単な文を書くようしている。
みんなに はなそう	4 (話し聞<4>)	○身近なことを経験したことから話題を決め、必要のことを思い出して、順序を考えて話す。 △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒知技(1)カ △丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。 ⇒◎知技(1)キ ○身近なことを経験したことなどから話題を決め、伝えようために必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表A(1)ア ○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 ⇒思判表A(1)イ ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒思判表A(1)エ ○紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらに関して声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っている。(〔知識及び技能〕(1)キ)	「話すこと・聞くこと」において、身近なことを経験したことなどから話題を決め、伝えようために必要な事柄を選んでいく。((思考力、判断力、表現力等)Aア)	積極的に丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付け、今までの学習を生かして身近なことを話そうとしている。

たのしく よもう 2 がきぐげこの うた	1	△様子を思い浮かべながら、リズムよく音読する。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒知技(1)ク	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク)		読んで語のまとまりや言葉の響きなどに気を付け、学習の意通しをもって音読しようとしている。
よく みて かこう	3 (書3)	■身近なものを観察し、気づいたことを簡単な絵や文で表し、書いたものを読み合って感想を伝え合う。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ⇒思判表B(1)イ ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア ☆生活科：観察カードを書く学習に生かすことができる。	言葉には、事物の内容を表す働きを伝える働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア)	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。((思考力、判断力、表現力等)Bア)	読んで経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、学習の意通しをもって経験する文章を書くようしている。
すずめの くらし	6	□開いた文や写真に導かれながら、すずめについて説明した文章を読む。 △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒知技(1)カ △読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。 ⇒知技(3)エ □時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)ア □文章の中の重要な語や文を考えて選り出すこと。 ⇒思判表C(1)ウ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ □事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。 ⇒思判表C(2)ア	長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書いている。(〔知識及び技能〕(1)ウ)	「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。((思考力、判断力、表現力等)Cア)	積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の意通しをもって分かったことや分かったことを報告しようとしている。
しゃ、しゅ、しょ	2	△抑音や抑長音に注意して、身のまわりから言葉を見つけ、正しく読んだり書いたりする。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ	長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)ウ)		積極的に抑音の表記の仕方を理解し、学習の意通しをもって読んだり書いたりしようとしている。。
たのしく よもう 3 きやきゅきの うた	1	△様子を思い浮かべながら、リズムよく音読する。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒知技(1)ク	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク)		読んで語のまとまりや言葉の響きなどに気を付け、学習の意通しをもって音読しようとしている。
しらせたい ことを かこう	12 (書12)	■身近なできごとや経験から知らせたいことを選び、簡単な文章を書く。 △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ⇒思判表B(1)イ ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア ☆生活科・特別活動：歌体や方言を使ったり、書いたりした文を見直しながら、相手にわかりやすいように書いて知らせる。 ☆道徳：友達がいちばんのよいところを見付ける。	長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)ウ)	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。((思考力、判断力、表現力等)Bア)	積極的に長音・抑音・促音・撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解し、学習の意通しをもって簡単な文章を書くようしている。
は、を、へ	1	△助詞の表記と語中の表記とを区別して理解する。 △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒知技(1)カ ■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ ☆生活科：見つけたことや気づいたことを、文章に書く。	助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)ウ)		積極的に助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解し、学習の意通しをもって簡単な文を書くようしている。
としょかんへ いこう	2	△図書館の基本的な利用方法を知り、興味のある本を探したり、紹介し合ったりする。 △昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。 ⇒知技(3)ア △読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。 ⇒知技(3)エ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(〔知識及び技能〕(3)エ)		積極的に読書に親しみ、学習の意通しをもって本を探しようとしている。
おはなしの くに	2	△挿絵を見ながら昔話などに興味をもち、読書をする。 △昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。 ⇒知技(3)ア △読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。 ⇒知技(3)エ □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(〔知識及び技能〕(3)エ)	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。((思考力、判断力、表現力等)Cイ)	積極的に読書に親しみ、学習の意通しをもって本を探ろうとしている。
おおきな かぶ	6	□繰り返しの展開を楽しみながら、場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げて読む。 △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒知技(1)ク □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒知技(3)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳：友達と協力して音読したり、話し合ったりする。	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク)	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。((思考力、判断力、表現力等)Cイ)	読んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の意通しをもって内容や感想を伝えようとしている。

えにつき	4 (書く4)	■身のまわりのできごとや経験したことを、絵と文で表現する。 △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒③加技(1)ウ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒思判表B(1)イ ■語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒思判表B(1)オ ■日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。⇒思判表B(2)イ ☆生活科・特別活動：日常生活の中から、楽しかったことやおもしろかったことを見つける。 ☆道徳：書くことをとおして自分の日常生活を振り返る。	長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ク）	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ）	積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、今までの学習を生かして絵日記を書くこととしている。
なつのおもいでを はなそう	5 (話す聞5)	○相手の話の内容を受けて話したり、自分からすすんで話したりする。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒加技(1)ア △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒③加技(1)イ ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒③思判表A(1)ア ○相手の伝わるように、行動したことや経験したことに基いて、話す事柄の順序を考えること。⇒思判表A(1)イ ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。⇒③思判表A(1)エ ○紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。⇒思判表A(2)ア ☆生活科：身近な自然や生活経験に興味をもつ。 ☆道徳：自分の生活について話したり、友達的生活について聞いたりして、自分について振り返る。	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。（〔知識及び技能〕(1)イ）	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aア）	積極的に話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、学習の共通点をもつて質問や感想を言おうとしている。
かたかなの ことば	2	△身のまわりの片仮名で書く言葉や表記を理解し、正しく書く。 △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒③加技(1)ウ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒加技(1)オ ☆生活科：身のまわりの自然や食べ物、道具に興味をもつ。	片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ク）		積極的に片仮名で書く語の種類を知り、学習の共通点をもつて読みたい語を探しようとしている。
けんかした 山	6	○場面の様子を想像しながら、お話を読む楽しさを味わう。 △第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒③加技(1)エ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒③加技(1)ク □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。⇒③思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ ☆道徳：けんかした経験を出し合ったり、登場人物の気持ちを想像したりして、相手の気持ちになる。	当該学年に配当されている漢字を読んでいる。（〔知識及び技能〕(1)エ） 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク） 【態度】進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって考えたことを発表したり文章にまとめたりしようとしている。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ）	
(みんなで たのしく よみましよう。)	2	○役割を決めてグループで音読する。 △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒③加技(1)ク □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。⇒思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク）	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）	一人で文章を読んで感じたことを共有し、学習の見通しをもって役割を決めて音読しようとしている。
かん字の はじまり	3	△漢字には、絵からできたものとしらでできたものがあることを理解する。 △第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒③加技(1)エ	当該学年に配当されている漢字を読んでいる。（〔知識及び技能〕(1)エ）		一人で当該学年で配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって読みたい語を探しようとしている。
だれが、たべたでしょう	7	○問いの文と答えの文や写真と文の対応に気をつけながら、動物の食べ跡について説明した文章を読む。 △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒加技(1)ウ △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒③加技(1)カ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒③加技(1)ク □時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。⇒③思判表C(1)ア □文章の中の重要な語や文を考えて導き出すこと。⇒思判表C(1)ク □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ □事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。⇒思判表C(2)ア	文の中における主語と述語との関係に気付いている。（〔知識及び技能〕(1)カ） 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク）	「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cア）	積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや分かったことに基づいて話している。
たのしかった ことを かこう	13 (書く13)	■日常生活の中から書くことを見付け、簡単な文章を書く。 △長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒③加技(1)ウ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒③思判表B(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒③思判表B(1)イ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。⇒思判表B(1)エ ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒思判表B(1)オ ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア ☆生活科：見つけたことやおもしろかったことなどをメモしておく。 ☆道徳：友達や自分のよいところを見つける。	長音、抑音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ク）	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア） 「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ）	

かぞえうた	2	△数え歌をもとにして、漢字を使った数の読み方に慣れるようにする。 △第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ △長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。 ⇒◎知技(3)イ ☆音楽科：手拍子などで拍子とりながらリズムよく読む。	当該学年に配当されている漢字を読んでいる。(〔知識及び技能〕(1)エ)		通年で言葉遊びに親しみ、学習の意通しをもってリズムよく読解しようとしている。
かぞえよう	3	△一から十までの漢数字を正しく読み、書く。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒◎知技(1)イ △第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ ☆算数科：正しい読み方で十までの数を数える。個数や順番を正しく数えたり表したりする。 ○学校で働く人に、知りたいことを尋ねて、聞いたことをメモをもとに学級の人々に知らせる。	当該学年に配当されている漢字を読んでいる。(〔知識及び技能〕(1)エ)		通年で漢字を読み、学習の意通しをもって文や文章の中で読解しようとしている。
五 さいた ことを 正しく つたえよう	8 (話す・聞 (8)	○学校で働く人に、知りたいことを尋ねて、聞いたことをメモをもとに学級の人々に知らせる。			
学校の ことを つたえあおう		△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒◎知技(1)イ △丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文に慣れること。 ⇒知技(1)キ ○身近なことを経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア ○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 ⇒思判表A(1)イ ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒◎思判表A(1)ウ ○話し手が知らせないことや自分が聞きたいことを意図しないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒◎思判表A(1)エ ○紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(1)ア	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(〔知識及び技能〕(1)イ)	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。((思考力、判断力、表現力等)Aウ) 通年で伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫し、今までで学習をまわして聞いたことを正確に伝えようとしている。	
ことばで つたえよう	3	△目元にあるものや経験したことなどを言葉を使って言い表し、言葉の便利さやおもしろさなどを理解する。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒◎知技(1)ア △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア)		通年で、言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付くようにつとめ、学習課題に沿って言葉で表そうとしている。
六 つたえたい ことを おもい出して かこう	8 (書(8)	■経験したことや見たことを思い出し、わかりやすい文章を書く。			
おもい出の アルバム		△長音、短音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かざ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)ウ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ ■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。 ⇒◎思判表B(1)エ ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒◎思判表B(1)オ ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア	長音、短音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かざ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)ウ)	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)Bウ) 「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。((思考力、判断力、表現力等)Bエ) 「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。((思考力、判断力、表現力等)Bオ)	
かん字の ひるば 道 にで いる かん字	3	△形の似た漢字を正しく読んだり、書いたりする。 △第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア	当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。(〔知識及び技能〕(1)エ)		積極的に漢字を読み、学習課題に沿って形の似た漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。
しりとりで あそぼう	1	△二音節単位でつなげていく「しりとり遊び」のあることを知り、実際に活動してみる。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒◎知技(1)イ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ	音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)イ)		通年で音節と文字との関係に気付くようにつとめ、学習をまわして正しい発音を聞き取りようとしている。
七 ようすを おもいうかべながら よもう	15 (書(5)	□様子を思い浮かべて読み、登場人物に手紙を書く。			
お手がみ		△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒◎知技(1)カ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒知技(1)ク ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ □場面の様子や登場人物の行動などを、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ □場面の様子に注目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒◎思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒◎思判表C(1)カ ■日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)イ □読み聞かせを聞いたたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳：B友情、信頼 友達と仲よくし、助け合うこと。	文の中における主語と述語との関係に気付いている。(〔知識及び技能〕(1)カ)	「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。((思考力、判断力、表現力等)Bオ) 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。((思考力、判断力、表現力等)Cイ) 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。((思考力、判断力、表現力等)Cカ)	
こくごの がくしゅう これまで これから	2 (話す・聞 (1)	○■一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。 ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒◎思判表A(1)ア ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表B(1)ア ○紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア			「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。((思考力、判断力、表現力等)Aア) 「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。((思考力、判断力、表現力等)Bア)

教科	算数	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
くらべたことがあるかな おおいのはどちらかな	1	初学期に育った数や量への関心・感覚を想起して、算数の学習への期待をもつ。			幼児期に育った数や量への関心・感覚を想起して、数や量に着目しようとしている。
1. なかまづくり かず	14	10までの数について、個数の比べ方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数のまとまりに着目して数の大きさの比べ方や数の読み方を考える及び数の構成に着目して数を多量的にとる力を養うとともに、数に親しみ、数で表すことと並び比べることのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	10までの数について、1対1対応により集合の要素の個数を比べる方法や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、集合の要素の個数を比べたり、数を読みくらげ、数字を数んだり書いたり、数の合成、分解をしたりすることができる。	数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数の読み書きや言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成に着目し、1つの数や意味の2つの数の和や差などを用いて表現したりしている。	数の比べ方や数の読み書きや言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成に着目して表現したりしている。
2. なんばんめ	2	数を用いた順序の表し方を理解し、重点に着目して順序を考えられる力や養うとともに、数を用いて順序を表すこととよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	数を用いた順序や位置の表し方を理解し、数を用いて順序や位置を表すことができる。	数を順序や位置を表すものとしてみて、重点に着目して順序や位置を考え、数を用いて順序や位置を表現している。	数を用いて順序や位置を表した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
どのようにかわるかな	1	数の構成について、数の数量的な見方に基づき、数の変わり方を説明することができる。		数の構成について、一方が増えたらもう一方は減るといった数量的な見方に基づき、数の関係を説明している。	
しあけよう	1	10までの数について数を多量にみえてきたことを振り返り、理解を確実にする。	基本的な問題を解決することができる。		
かずをさがそう	-	身の回りから、10までの数のものを探ることを通して、数の理解を深める。		ものの数に着目し、10までの数のものを探し、表現している。	10までの数の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習や生活に生かそうとしたりしている。
3. あわせていくつ ふえたとはいくつ	8	加法の意味と和が10以内の加法計算の仕方を理解し、数量の関係に着目して加法の意味や加法計算の仕方を考える力や養うとともに、加法の意味や加法計算の仕方を操作や式に表して考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	合併や増加など、加法が用いられる場合について知り、加法の意味を理解し、和が10以内の加法計算が確実にできる。	加法の意味に着目し、合併や増加などの場面を加法の式に表し、その計算の仕方を位数の構成や操作などを用いて考え、表現している。	加法の意味や加法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
おぼえていけるかな?	-	既習内容の理解を確認する。	既習内容に関する問題を解決することができる。		
4. のりはいくつ ちがいはいくつ	9	減法の意味と被減数が10以内の減法計算の仕方を理解し、数量の関係に着目して減法の意味や減法計算の仕方を考える力や養うとともに、減法の意味や減法計算の仕方を操作や式に表して考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	減りや求差、差など、減法が用いられる場合について知り、減法の意味を理解し、被減数が10以内の減法計算が確実にできる。	減法の意味に着目し、減りや求差、差などの場面を減法の式に表し、その計算の仕方を数の構成や操作などを用いて考え、表現している。	減法の意味や減法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
5. どちらがながい	5	長さの比較などの活動を通して、長さや測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの長さについて任意単位により比較する力を養うとともに、長さについての感覚を豊かにし、日常生活に活用しようとする態度を養う。	長さについての基礎的な意味や、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、長さについての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、長さ比べることができる。	身の回りにあるものの長さに着目して、直接比較や間接比較、任意単位による長さの比べ方を考えたり、任意単位により長さを数値で表したりしている。	身の回りにあるものの長さに関心をもち、比較の方法を工夫して考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
6. わかりやすくせうじしよう	2	ものの数について簡単な絵や図に表す方法を理解し、データの個数を簡単な絵や図に表し、それらの特徴を読み取る力を養うとともに、簡単な絵や図を用いてデータの個数を表したり、よむたりしことを振り返り、日常生活に活用しようとする態度を養う。	ものの個数を課題ごとに分類整理し、簡単な絵や図を用いて表したり読み取ったりすることができる。	データの個数に着目し、身の回りの事象について簡単な絵や図を用いて特徴をあらわしている。	簡単な絵や図を用いて、データの個数を表したりその特徴をあらわしたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
おぼえていけるかな?	-	既習内容の理解を確認する。	既習内容に関する問題を解決することができる。		
7. 10よりおおいかず	9	40までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10並びとまとまりとしての数の数え方を考える力や及数の構成に着目して数の読み方を考える力や養うとともに、数で表すこととよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	40までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、40までの数を数え数え数えたり書いたり、10までの数の構成を加法や減法の式に表して表現したりしている。	10のまとまりに着目し、40までの数の数え方や読み書きや言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成に着目して表現したりしている。	数の構成を活用して数の数え方や加法計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
8. なんじ なんじはん	1	何時、何時半の時刻の読み方を理解し、時計の短針と長針の関係を基に時刻の読み方や書き方を考える力や養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	何時、何時半の時刻の読み方を理解し、何時、何時半の時刻を数んだり、時計で表したりすることができる。	短針と長針の関係をあらえて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考え、表現している。	時刻に関心をもち、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
おぼえていけるかな?	-	既習内容の理解を確認する。	既習内容に関する問題を解決することができる。		
9. 3つの かずの けいさん	3	3つの数の加法計算の仕方を理解し、3つの数の加法計算の仕方を操作や式を用いて考える力を養うとともに、3つの数の加法計算の式の読み方や計算の仕方を考え、過程を振り返り、そのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	3つの数の加法計算の場面を1つ1つの式に表せることを理解し、その計算が確実にできる。	3つの数の加法や減法を基にして、3つの数の加法計算の式の読み方や計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。	3つの数の加法計算について、式の読み方や計算の仕方を、操作や図を用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
10. どちらがおおい	4	体積の比較などの活動を通して、体積とその測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの体積について任意単位により比較する力を養うとともに、体積についての感覚を豊かにし、日常生活に活用しようとする態度を養う。	体積についての基礎的な意味や、体積の方法、任意単位による測定の方法を理解し、体積についての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、身の回りにある入れ物に入る水の体積を比べることができる。	身の回りにある入れ物に入る水の体積に着目して、直接比較や間接比較、任意単位による体積の比べ方を考えたり、任意単位により体積を数値で表したりしている。	身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心をもち、比較の方法を工夫して考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
おぼえていけるかな?	-	既習内容の理解を確認する。	既習内容に関する問題を解決することができる。		
11. たしざん	10	1位の数と1の横り上りのある加法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	1位数どうしの横り上りのある加法計算が「10といくつ」という数の見方を基にすることができることを理解し、その計算が確実にできる。	10のまとまりに着目し、1位数どうしの加法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。	1位数どうしの加法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
おぼえていけるかな?	-	既習内容の理解を確認する。	既習内容に関する問題を解決することができる。		
12. かたちあそび	4	身の回りにあるものの形について、基本的な立体図形の特性や特徴をあらわし、立体図形についての理解を深め、そのよさを意識させながら、立体図形の形に着目して特徴や機能をとらえたり、構成や分解を考えたたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	身の回りにあるものの形について、その形状や特徴、機能をとらえたり、構成や分解を考えたたりする力や養うとともに、それらについての意図的な感覚を養っている。	身の回りにあるものの形に着目し、図形の特性や機能をあらわしたり、構成や分解をしたりして、表現している。	身の回りにあるものの形について、観察や構成、分解したり、構成、分解したりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
13. ひきざん	10	11～18から1位数をひく横り下りのある減法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	11～18から1位数をひく横り下りのある減法計算が「10といくつ」という数の見方を基にすることができることを理解し、その計算が確実にできる。	数の構成に着目し、11～18から1位数をひく横り下りのある減法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。	11～18から1位数をひく横り下りのある減法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
どんな けいさんになるのかな?	2	加法や減法を通して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばす。	適切な立式をして、問題を解決することができる。		既習を活用して、どのような式で解決すればよいかを考えようとしている。
けいさんぽんあつど	2	既習事項を総合的に適用して問題を解決することを通して、既習内容の理解を確認する。	数を2つの数の和や差としてとらえ、計算どうきをつたの計算の仕方を考え説明している。	数を2つの数の和や差としてとらえ、計算どうきをつたの計算の仕方を考え説明している。	計算どうきづくに関心をもち、自分ではいろいろな問題をつくらうとしている。
おぼえていけるかな?	-	既習内容の理解を確認する。	既習内容に関する問題を解決することができる。		
14. おおいきかず	14	2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10を単位として数をとらえたり及び数の構成に着目して数の読み方を考える力や養うとともに、数で表すこととよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、10を単位として数をとらえたり及び数の構成に着目して数の読み方を考える力や養うとともに、数で表すこととよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	既習の数の読み方の仕組みを基に、120程度までの数の読み方や読み書きや言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成に着目して表現したりしている。	数の構成を活用して数の数え方や加法計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
15. どちらがひらいて	1	面積の比較などの活動を通して、面積とその測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの面積について任意単位により比較する力を養うとともに、面積についての感覚を豊かにし、日常生活に活用しようとする態度を養う。	面積についての基礎的な意味や、面積の方法、任意単位による測定の方法を理解し、面積についての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、身の回りにあるものの面積を比べることができる。	身の回りにあるものの面積に着目して、直接比較や任意単位による面積の比べ方を考えたり、任意単位により面積を数値で表したりしている。	身の回りにあるものの面積に関心をもち、比較の方法を工夫して考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
16. なんなんぶん	2	何時何分の時刻の読み方を理解し、時計の短針と長針の関係を基に時刻の読み方や書き方を考える力や養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	何時何分の時刻の読み方を理解し、何時何分の時刻を数んだり、時計で表したりすることができる。	短針と長針の関係をあらえて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考え、表現している。	時刻に関心をもち、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
ビルをつくらう	1	数の乗法・除法の構成を理解する。		いろいろな形の長方形のビルをつくることを通して、12の乗法・除法的な構成を構成、式や言葉を用いて説明している。	
17. たしざん ひきざん	5	順序数や乗算の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し、数量の関係を基に計算の仕方を考える力や養うとともに、加減の関係を基に表して考えた過程を振り返り、そのよさを意識し、今後の学習に活用しようとする態度を養う。	順序数や乗算の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面も加減の式に表せることを理解し、問題を解決することができる。	数量の関係に着目し、順序数や乗算の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図や式に表して考え、表現している。	順序数や乗算の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を基に問題を解決した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
18. かたちづくり	5	身の回りにあるものの形について、基本的な平面図形の特性をあらわし、平面図形についての理解を深め、そのよさを意識させながら、平面図形の形に着目して特徴をとらえたり、構成や分解を考えたたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	身の回りにあるものの形について、その形状や特徴をとらえたり、構成や分解を考えたたりする力や養うとともに、それらに関する意図的な感覚を養っている。	身の回りにあるものの形に着目し、図形の特性をとらえたり、構成や分解をあらわしたりして、表現している。	身の回りにあるものの形について、形の特性をとらえたり、構成や分解をあらわしたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学習しようとしている。
1ねんの ふしゅう	3	既習内容の理解を確認する。	1年の学習内容について、問題を解決することができる。		

教科	生活	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
がっこう だいすき	20	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことがかかるとともに、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようにする。	○学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付いている。	○学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付けている。	○学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとしている。
きれいに さいてね	4	植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、植物に親しみをもち、大切にしようすることができるようにする。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、分かったことをまとめ、表現している。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。
なつが やって きた	8	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようすることができるようにする。	○夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いている。	○夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けている。	○夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしている。
いきものと なかよし	6	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、動物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にしようすることができるようにする。	○身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	○身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	○身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。
たのしい あき いっぱい	21	秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようすることができるようにする。	○秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付いている。	○秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してつくりたりしている。	○秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。
じぶんで できるよ	12	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようすることができるようにする。	○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付いている。	○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭における家の人のことや自分でできることなどを見付けている。	○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。
ふゆを たのしもう	9	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わることに気付くとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようすることができるようにする。	○冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付いている。	○冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、公共物や公共施設のよさを感じたり動きを捉えたりしている。	○冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようとしている。
もう すぐ 2ねんせい	18	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようすることができるようにする。	○入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、身近な人々と関わることやよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。	○入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	○入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

教科	音楽	学年	第1学年
----	----	----	------

[illegible]

教科	図画工作	学年	第1学年
----	------	----	------

単元名	時間	単元の目標自体(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
すきなもの いっぱい		○好きな色を工夫しよう。 ○好きなものをいろいろ書つけよう。 ○好きなものをいろいろな形に描いたものもしよう。	○好きなものをいろいろ描き、作品を完成させることを通して、形や色の組み合わせなどに気づいていく。 ○好きなものや(そのものの色)に描くことにもとに、形や色、描き方を工夫して表している。	○経験したことや想像したことをもとに描いたものを見せつけ、どのように表すかを考えている。	○思いがままに絵を描くことに楽しみをもち、たのしく取り組もうとしている。
ねんどとなかよし	2	○手をねんどに丸くねらせる。 ○いろいろな形を見せつけよう。 ○ねんどの触り心地をたのしむ。	○ねんどにねんがけける感覚や手あそびを通して、触った感じや手の動きに気づいていく。 ○ねんどの触り心地やねんがけのしづかしさ、全体の手触りを感じながら、活動を楽しんでいる。	○ねんどにねんがけた感じやそこから生まれる形をもとに想像的な活動をしているとき、どのように活動するかを考えている。	○ねんどの触り心地のよさを味わいながら、いろいろな形を見せつけることをたのしもうとしている。
クレヨンやパスとなかよし	2	○形や色を塗る工夫しよう。 ○いろいろな描き方や塗り方を考えよう。 ○クレヨンやパスで線を描くことのたのしむ。	○クレヨンやパスのいろいろな塗り方を試すことを通して、そこから生まれる形や色の面白さや面白さを感じていく。 ○クレヨンやパスの塗り方を工夫しながら工夫して表している。	○いろいろな描き方をともに楽しんでいる。 ○描きつけた感じやそこから生まれる形をもとに想像的な活動をしているとき、どのように活動するかを考えている。	○クレヨンやパスのいろいろな塗り方に興味をもち、たのしく取り組もうとしている。
いろいろなべた	2	○身近な材料のべた方を工夫しよう。 ○好きなものを工夫しよう。 ○たのしく遊びよう。	○身近な材料をべたを通して、形や色、べたの面白さなどに気づいていく。 ○形や色をべたで表現し、作品を完成させるなど、手や身体全体の感覚を働かせながら、活動を楽しんでいる。	○材料の形や色、大きさなどの特徴をもとに想像的な活動をしているとき、どのように活動するかを考えている。	○材料の形や色に関心をもち、いろいろな材料のべた方を試しながら、たのしく取り組もうとしている。
チョップン・ハットで かきよう	6	○ねんどの折り方や切り方を工夫しよう。 ○つづたりつづたりすることのたのしむ。	○ねんどの折り方や切り方を覚えたり、それらを組み合わせてつづたりすることを通して、いろいろな形や色の模様を完成させることに気づいていく。 ○ねんどの折り方や切り方をさまざまに試すなど、新しい方法を工夫しながら工夫して表している。	○ねんどの折り方について、できるときや色をもとに想像的な活動をしているとき、どのように活動するかを考えている。	○ねんどの折り方や切り方を覚えていくこと、いろいろな形や模様を完成させることに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。
ながいなかめから	4	○描き方を工夫しよう。 ○ねんどの折った描いたものを考えよう。 ○紙に線を描くことのたのしむ。	○線を描いたり線に描き、互いの作品を見せ合うことを通して、両用紙の折ったマの模様や線を描くことの面白さや面白さを感じていく。 ○線を描いたり線に描くことを工夫して表している。	○長い両用紙の折れにもとに描いたことを見せつけ、どのように表すかを考えている。	○いつかとは違ふ両用紙の折れに描くことに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。
うさぎボックス	4	○ねんどの折り方を工夫しよう。 ○ねんどの折った描いたものを考えよう。 ○ねんどの折った描いたものを考えよう。	○ねんどの折り方を覚えたり、互いの作品を見せ合うことを通して、両用紙の折ったマの模様や線を描くことの面白さや面白さを感じていく。 ○ねんどの折った描いたものを工夫して表している。	○両用紙の折れや色をもとに描いたことを見せつけ、どのように表すかを考えている。	○両用紙の折れや色をもとに描いたことを見せつけ、どのように表すかを考えている。
きわって かのの きまらしい!	2	○手や指を使った描き方を工夫しよう。 ○描かれたこととものを考えよう。 ○手や指で描く気持ちや思いをたのしむ。	○手や指を使った描き方を工夫して、自分の描いたものや色を表現して表している。 ○手や指で描く気持ちや思いをたのしむ。	○手や指のひらで描いたものや色を表現して表している。 ○手や指で描く気持ちや思いをたのしむ。	○手や指のひらで描いたものや色を表現して表している。 ○手や指で描く気持ちや思いをたのしむ。
みて、みて、いつか つくたよ	2	○いろいろな折り方を工夫しよう。 ○つづたりつづたりすることのたのしむ。 ○たのしく遊びよう。	○ねんどの折った描いたものを工夫して表している。 ○ねんどの折った描いたものを工夫して表している。	○これまでで経験や想像したことをもとに描いたことを見せつけ、どのように表すかを考えている。	○ねんどの折った描いたものを工夫して表している。 ○ねんどの折った描いたものを工夫して表している。
せんの かんじいけんけん	2	○ねんどの折った描いたものを工夫しよう。 ○ねんどの折った描いたものを工夫しよう。 ○ねんどの折った描いたものを工夫しよう。	○ねんどの折った描いたものを工夫して表している。 ○ねんどの折った描いたものを工夫して表している。	○ねんどの折った描いたものを工夫して表している。 ○ねんどの折った描いたものを工夫して表している。	○ねんどの折った描いたものを工夫して表している。 ○ねんどの折った描いたものを工夫して表している。
あわわわー	4	○紙でねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。	○紙でねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○紙でねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○紙でねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。
きらきら だんどう いきいきも	2	○色を混ぜたりねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○色を混ぜたりねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○色を混ぜたりねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。	○色を混ぜたりねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○色を混ぜたりねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○色を混ぜたりねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○色を混ぜたりねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○色を混ぜたりねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○色を混ぜたりねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。
はって かきやて...	2	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。
ちぎって はって	2	○ちぎった色紙の端や折り方を工夫しよう。 ○ちぎった色紙の端や折り方を工夫しよう。 ○ちぎった色紙の端や折り方を工夫しよう。	○ちぎった色紙の端や折り方を工夫して表している。 ○ちぎった色紙の端や折り方を工夫して表している。	○ちぎった色紙の端や折り方を工夫して表している。 ○ちぎった色紙の端や折り方を工夫して表している。	○ちぎった色紙の端や折り方を工夫して表している。 ○ちぎった色紙の端や折り方を工夫して表している。
あそぼう、ハバクワン	6	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。
スナタン、スナタン!	4	○いろいろな折り方を工夫しよう。 ○いろいろな折り方を工夫しよう。 ○いろいろな折り方を工夫しよう。	○いろいろな折り方を工夫して表している。 ○いろいろな折り方を工夫して表している。	○いろいろな折り方を工夫して表している。 ○いろいろな折り方を工夫して表している。	○いろいろな折り方を工夫して表している。 ○いろいろな折り方を工夫して表している。
ひかりのくにの なかまち	6	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。
おもしろい! にこにこニュース	6	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。
みて、きかて、かんて	2	○いろいろな折り方を工夫しよう。 ○いろいろな折り方を工夫しよう。 ○いろいろな折り方を工夫しよう。	○いろいろな折り方を工夫して表している。 ○いろいろな折り方を工夫して表している。	○いろいろな折り方を工夫して表している。 ○いろいろな折り方を工夫して表している。	○いろいろな折り方を工夫して表している。 ○いろいろな折り方を工夫して表している。
くしやしらたに だいけんけん	2	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。
でたていらいな こんなん	4	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫しよう。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。	○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。 ○ねん(おもちゃ)をつくり方を工夫して表している。

教科	特別活動	学年	第1学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学校って楽しいな	1	学級や学校の生活をより楽しく豊かなものにするため、他者の思いを受け止めながら、よりよい集会の内容や計画を考え、実践することができるようにする。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。
もっとすてきな学級にしよう	2	学級活動がどのような学習なのかを知り、意欲的に活動できるように意識付けをする。	学級や学校の生活をよりよいものにするために、様々な場面で他者と協働して取り組むことの意義を理解している。	学級や学校の生活をよりよくするために、課題を見いだし、解決案を考えたりして、実践している。	学級や学校の生活をよりよいものにするために、問題に関心をもち、他者と協力して主体的に取り組もうとしている。
★楽しい運動会にしよう	3	運動会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	運動会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	運動会を通して成長する上での課題に気が付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	運動会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
雨の日の過ごし方	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。	安全に日常生活をおくる上での課題に気が付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
1学期はどうでしたか (楽しい夏休みにしよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
2学期のめあてを決めよう (楽しい夏休みでしたか)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★楽しい篠三まつりにしよう	3	篠三まつりを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	篠三まつりを通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	篠三まつりを通して成長する上での課題に気が付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	篠三まつりに向け粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
★楽しい学習発表会にしよう	6	学習発表会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	学習発表会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	学習発表会を通して成長する上での課題に気が付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	学習発表会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
2学期のめあてを振り返る (楽しい冬休みにしよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
3学期のめあてを決めよう (楽しい冬休みでしたか)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
寒さに負けず元気に過ごそう	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。	安全に日常生活をおくる上での課題に気が付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
もうすぐ2年生 (楽しい春休みにしよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。次の学年への意識を高めようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

教科	読書科	学年	第1学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
としょかんへいこう いきもののことをしらせよう むかしばなしをよもう	12	○図書館の簡単な使い方を 知る。 ○読書を通して、生き物に 興味をもち、意欲的に本を 読むことができる。 ○いろいろな昔話を読む。	○図書室の使い方や過ごし 方を身に付けている。 ○自分が読みたい生き物の 本をタイトルなどから探 している。 ○興味をもって読み聞か せを聞いたり好きな本を 読んだりしている。	○生活の中から自分が調 べたい生き物を見つけて いる。 ○本で調べたことからク イズを考え、分かりやす く伝えている。	○図書室の使い方が分か り、進んで本を読もうと している。 ○進んで本を読み、調べ ようとしている。 ○生き物について分かっ たことを楽しんで伝えよ うとしている。
いきものはかせになろう のりものがでてるほんを よもう のりものはかせになろう	15	○生き物のすごいところ を見つけ、知らせること ができる。 ○一番知りたい疑問を調 べる、分かったことをリ ーフレットにまとめるこ とができる。 ○自分が調べた乗り物に ついて知らせることがで きる。	○生き物のすごいところ を見つけて付箋を貼った り、カードに書きだして いる。	○生き物のすごいところが 伝わるように、画用紙に まとめ、自分の感想を交 えて友達に伝えている。 ○本で調べたことや自分 の考えを分かりやすく伝 えている。	○進んで本を読み、調べ ようとしている。 ○生き物に関する疑問に ついて、主体的に学んで いこうとしている。 ○乗り物の本を進んで読 もうとしている。
おはなしどうぶつえんを つくろう アーノルド・ローベルの 本を読もう	8	○一年間の読書を振り返 り、一番心に残った本を 選ぶことができる。 ○その本の中で一番心 に残った場面を選ぶこと ができる。 ○登場人物や簡単なあら すじをまとめ、発表する ことができる。	○読んだ本を読書記録ノ ートに記録している。	○一番心に残った場面に ふさわしいタイトルを考 えている。 ○登場人物やあらすじを まとめ、友達に伝えて いる。	○進んで本を読み、本の 良さを伝えようとして いる。